

矢吹中学校改築事業



工事進捗率 9%

杭工事に伴い、当現場では杭打ち機3台と大型クレーン3台が稼働しています。



杭打ち機の高さは約26m、組立には2日間を要します。



杭打ち機による掘削状況です。
当現場の杭打ち機は、総重量約100t、排気量10,000cc、出力155ps、最大掘削深さが約35m、杭径が80cmまでの杭の施工が可能です。



クレーンは総重量65t、排気量6,800cc、出力180ps、最大65tまでの吊上げが可能です。

杭は3分割になっており、 $\frac{1}{3}$ 本ずつ設置します。

杭径45～80cm、1本の重さが最大で約9t、1セットで最大20tの杭が埋め込まれます。

校舎 I 期工事では杭の最大長さ32m、杭径45～80cmの杭が140セットになります。

体育館では杭の最大長さ25m、杭径50cmの杭が76セットが硬質な支持層まで埋め込みます。



杭施工前の杭芯位置の確認です。
施工会社、工事監理会社、町監督員による検査、確認が随時行われています。

強固な地盤により支えられる杭は、1本当たり最大約300tの荷重を支えることができます。



杭工事は「埋込み工法」により行い、大きな音は出しません。
現場から一番近い教室からも気にならないと報告を受けています。



敷地の東側から撮影した現在の様子です。
五月晴れの中、杭工事は順調に進んでいます。